1　国語

| 学校番号 | ３２１ |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 古典Ｂ | 単位数 | ２ | 年次 | ３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新　精選古典Ｂ古文編・漢文編（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 「読解のための必携古典文法三訂新版」(啓隆社)「ビジュアルカラー国語便覧改訂版」（大修館書店）「よむナビ古文２」（いいずな書店）「古文単語３３０」（いいずな書店） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ

・先祖が大切に慈しみ現在に伝えた、有名な古典作品を味わいましょう。
・昔の物の考え方や感じ方にふれ、現代の我々にも共感できる民族の心を確かめましょう。
・語彙や語法など、知識の積み重ねが読解の前提になるので、予習・復習をしましょう。

2　学習の到達目標

・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b: 読む能力 | c： 知識・理解 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 古典を読む力を高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。 | 古典作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 | 古典理解のために必要な語彙・語法の知識を身につける。 |
| 主たる評価方法 | 行動の観察<br>記述の確認<br>（ノート、ワークシート等） | 記述の確認<br>（ノート、ワークシート等）<br>定期考査 | 記述の確認<br>（ノート、ワークシート等）<br>定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | | |
| 1学期 | 歴史物語 | 『大鏡』<br>・雲林院の菩提講<br>・花山天皇の退位 | ○ | ◎ | ○ | a:話のおもしろさや登場人物の行動や心情を読み味わう。<br>b：本文を適切に口語訳し、登場人物の行動と心情を読み取っている。<br>c：語彙の習得。古典文法（敬語表現を中心に）の理解。文学史的な基礎知識の習得 | a:行動の観察及び記述の確認<br>b:記述の確認及び定期考査<br>c:記述の確認<br>小テスト及び定期考査 |
| | 随筆 | 『枕草子』<br>・「二月つごもり頃に」<br>・「宮に初めて参りたる頃 | ○ | ◎ | ○ | a：物語・随筆を読んで、人間、社会、などに対する作者の思想や感情を読み取る。<br>b：本文を適切に口語訳し、作者のものの感じ方、考え方を読み取る。<br>c：語彙の習得。古典文法（付属語を中心に）の理解。文学史的基礎知識の習得。 | a:行動の観察及び記述の確認<br>b:記述の確認及び定期考査<br>c:記述の確認<br>小テスト及び定期考査 |
| 2学期 | 日記 | 『蜉蝣日記』<br>・「町の小路の女」<br>『紫式部日記』<br>・「和泉式部・清少納言」 | ○ | ◎ | ○ | a:話のおもしろさや登場人物の行動や心情を読み味わう。<br>b：本文を適切に口語訳し、登場人物の行動と心情を読み取っている。<br>c：語彙の習得。古典文法（敬語表現を中心に）の理解。文学史的な基礎知識の習得 | a:行動の観察及び記述の確認<br>b:記述の確認及び定期考査<br>c:記述の確認<br>小テスト及び定期考査 |
| | 物語 | 『源氏物語』<br>・「車争ひ」<br>『堤中納言物語』<br>・「虫めづる姫君」 | ○ | ◎ | ○ | a:話のおもしろさや登場人物の行動や心情を読み味わう。<br>b：本文を適切に口語訳し、登場人物の行動と心情を読み取っている。<br>c：語彙の習得。古典文法（敬語表現を中心に）の理解。文学史的な基礎知識の習得 | a:行動の観察及び記述の確認<br>b:記述の確認及び定期考査<br>c:記述の確認<br>小テスト及び定期考査 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 近世小説 | 『世間胸算用』<br>・「鼠の文使ひ」 | ○ | ◎ | ○ | a: 随筆を読んで、人間、社会、などに対する作者の思想や感情を読み取る。<br>b：、作者のものの感じ方、考え方を読み取る。<br>c：語彙の習得。古典文法（敬語表現を中心に）の理解。文学史的な基礎知識の習得 | a:行動の観察及び記述の確認<br>b:記述の確認及び定期考査<br>c:記述の確認<br>小テスト及び定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:読む能力　c:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。